

# 道徳的実践意欲を育てる指導の工夫

～二つの役割演技を取り入れて～

特別研修員 道徳 板橋真紀（中学校教諭）

生徒の実態

人の話を謙虚に受け止められなかったり、思ったことをすぐに口に出してしまったりすることがある

## 導入

### 役割演技①

教師による役割演技を見る

生徒の実生活に近い場面を設定

## 展開

### 役割演技②

役割演技①のシナリオに戻り、資料を通して考えたこともふまえて、人間関係がうまくいようなセリフを考え、役割演技を行う

## 終末

道徳的実践意欲の高まった生徒

## 成果

- 導入で、教師による役割演技を行うことで、生徒が本時のねらいに対し、問題意識を持つことができた。
- 展開後段で、日常に起こりうる場面の役割演技をさせたことで、自分自身の問題と捉え、道徳的実践意欲の高まりが見られた。

### 実践1

#### 「遠足で学んだこと」

2-(5) 個性や立場の尊重、寛容の心、謙虚

- A 「わぁ～このお店、大人気だね。きつとおいしいんだよ。楽しみ」  
B 「これ、何分待ちなのかな？」  
A 「1時間くらいかかるって。でも、せっかくだし、並ぼう」  
B 「1時間はちょっといやだな・・・」  
A 「え～だってみんなで決めたんじゃない？先生もマックとかじゃなくて東京らしいもの、食べるように言ってたし。」  
B 「そんなに待ったら、午後の予定が狂っちゃうから行こうよ」  
C 「・・・」

### 実践2

#### 「合唱コンクールに向けて」

4-(7) 愛校心、校風の樹立

女子A

「ねえ。男子はみんな、やる気あるの？しゃべってばかりでさ、練習に遅れてくる人も多いし。学年リハーサルでも、うちら遅れをとっていたのに。このままでいいの？」

男子B

「歌っているよ！女子の声だって、出てないじゃないか。文句ばかり言って、うるさいな」

C 「・・・」

こういうこと、うちのクラスにもあるなあ



読み物資料「遠足で学んだこと」を通して、個性や立場の尊重について理解する

読み物資料「合唱コンクールに向けて」を通して、愛校心について理解する



私もここがいいけど、時間もあるから今回は違うところにしよう

午後の計画も崩れないように、この近くで名物的な店を探そう

まずは予定通りに行こう。時間があまったら、このお店で食べよう



最優秀賞もとれないし、自分達もいい気持ちで終えられなくなる。このままでいいの？

言い争いしてる暇があるなら、練習しよう。改善点や提案があるなら出し合って、もっとよくしよう



これまでの自分 これからの自分について振り返る

違う意見を聞くとしていなかったけれど、友達のよさを認めて話を聞きたい



クラスに問題が起きても関わらないようにしていたけど、積極的に働きかけたい

## 課題

- 役割演技と読み物資料を使用するので、1時間で扱える資料選び、発問数の精選をする必要がある。
- 役割演技を取り入れるものとしてふさわしい内容項目について、探っていく必要がある。